



平成29年3月期 中間決算



三ツ星ベルト株式会社

将来情報についての注意事項



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2016年度中間業績

(単位：百万円) **MITSUBOSHI**

	2015中間	2016中間	差異	率
売上高	34,792	33,218	△1,574	△4.5%
営業利益	4,210	4,513	+303	+7.2%
率	12.1%	13.6%		
経常利益	4,558	4,103	△455	△10.0%
率	13.1%	12.4%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,216	2,936	△280	△8.7%
率	9.2%	8.8%		

(中間連結業績)

営業利益過去最高

売上高

・為替の影響もあり減収

利益面

・原材料価格の影響
 ・原価低減などの内部努力により増益
 中間期の営業利益は過去最高益を更新

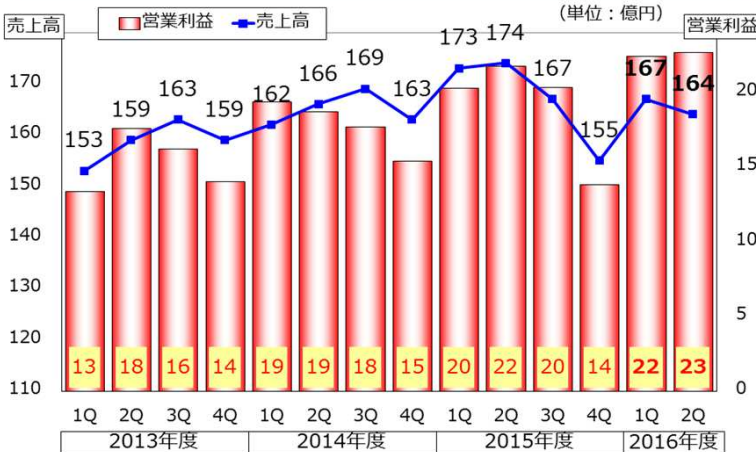
・円高による為替差損

経常利益・四半期純利益は減少

四半期業績 推移

(単位：億円) **MITSUBOSHI**

売上高は前年同期を下回るも、営業利益は過去最高で推移



(四半期推移)

利益は高水準を維持

売上高

・第1・第2四半期は160億円台で推移し前期を下回る

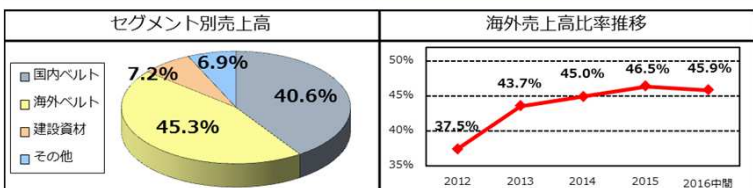
営業利益

・第1・第2四半期ともに20億円を超える高水準
 ・目標の利益率10%を大幅に上回る

セグメント別売上高

(単位：百万円) **MITSUBOSHI**

	2015中間	2016中間	差異	率%
国内ベルト	13,623 39.2%	13,488 40.6%	△135	△1.0%
海外ベルト	16,450 47.3%	15,063 45.3%	△1,387	△8.4%
建設資材	2,512 7.2%	2,391 7.2%	△121	△4.8%
その他	2,206 6.3%	2,275 6.9%	+69	+3.1%
計	34,792 100%	33,218 100%	△1,574	△4.5%
海外売上高	16,607 47.7%	15,251 45.9%	△1,356	△8.2%



(セグメント別売上高)

国内ベルト横ばい 海外ベルトは円高影響受ける

国内ベルト

・主力の自動車用と一般産業用のいずれもが前期並み

海外ベルト

・現地通貨では総じて前期を上回る
 ・円高により邦貨換算では減少

建設資材

・建築投資の落ち込みが影響し

その他

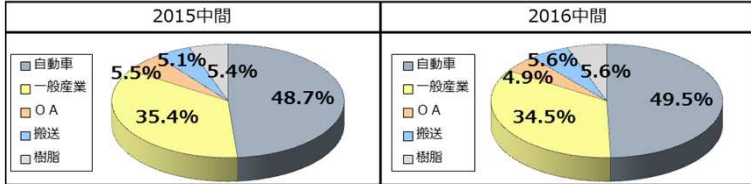
・S F製品の医療機器向けが好調

ベルト売上高の内訳

(単位：百万円)



	2015中間		2016中間		差異	率%
	売上高	比率	売上高	比率		
自動車用ベルト	14,641	48.7%	14,122	49.5%	△519	△3.5%
一般産業用ベルト	10,632	35.4%	9,848	34.5%	△784	△7.4%
OA機器用ベルト	1,652	5.5%	1,400	4.9%	△252	△15.3%
搬送ベルト	1,522	5.1%	1,589	5.6%	+67	+4.4%
合成樹脂素材	1,626	5.4%	1,592	5.6%	△34	△2.1%
ベルト計	30,073	100%	28,551	100%	△1,522	△5.1%



(ベルト売上高) 為替の影響を受ける

- 自動車用ベルト
・東南アジアにおいて4輪・2輪の補修需要が増加
- 一般産業用ベルト
・中国において農業機械用の需要が伸長
- OA機器用ベルト
・ATMの中国市場向け輸出が減少
- 搬送用ベルト
・食品向けを中心に好調に推移
- 合成樹脂素材
・半導体・液晶製造装置関連は堅調

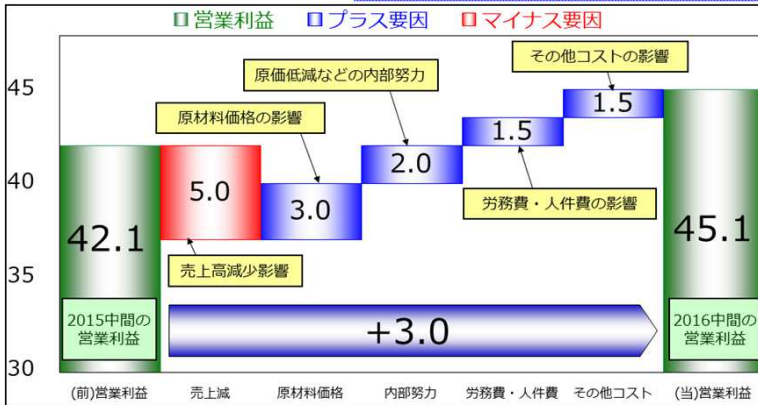
中間 営業利益の変動要因

(単位：億円)



	2015中間	2016中間	差異
売上高	347.9	332.1	△15.8
営業利益	42.1	45.1	+3.0
経常利益	45.5	41.0	△4.5

- 円高・原油価格安により、原材料価格は低下傾向
- 労務費・人件費は依然上昇も為替影響により邦貨では減少となった。



(中間営業利益) 過去最高益を更新

- 営業利益
- ・売上高減少影響 △5.0億円
 - ・原材料価格低下影響 +3.0億円
 - ・原価低減 +2.0億円
 - ・労務費・人件費影響 +1.5億円
 - ・その他コストの影響 +1.5億円
- 計 +3.0億円

中間営業利益は過去最高益

通期業績予想

(単位：百万円)



	2016上期			2016通期		
	年初開示	実績	差異	年初開示	修正開示	差異
売上高	33,500	33,218	-282	66,000	66,000	±0
営業利益	3,400	4,513	+1,113	6,600	7,700	+1,100
率	10.1%	13.6%		10.0%	11.7%	
経常利益	3,450	4,103	+653	6,700	7,300	+600
率	10.3%	12.4%		10.2%	11.1%	
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,400	2,936	+536	5,200	6,400	+1,200
為替レート	USD			110円 → 103円		
	EUR			125円 → 115円		
年間配当金				1株当り18円 変更なし		

営業利益・当期純利益は過去最高益を見込む

(通期業績予想)

営業利益・当期純利益は過去最高益を見込む

- ・中間期は利益が予想を上回る
- ・通期の業績予想を修正

- 特別利益
- ・投資有価証券の売却益を見込む

営業利益・当期純利益は過去最高を見込む

- 想定為替レート
- ・USD 110円→103円
 - ・EUR 125円→115円

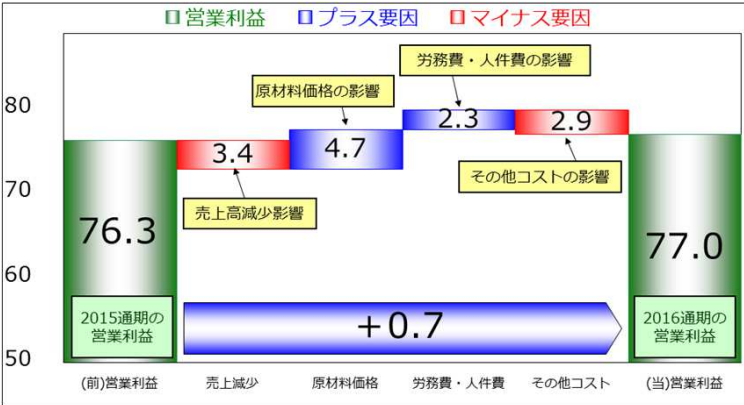
- 配当金
- ・1株当り18円の年間配当(変更なし)

通期 営業利益の変動要因

(単位：億円) MITSUBOSHI

	2015通期	2016通期	差異
売上高	670.6	660.0	△10.6
営業利益	76.3	77.0	+0.7
経常利益	77.8	73.0	△4.8

- 原材料価格の低下は鈍化するも、前期比では価格安を見込む
- 通期営業利益も過去最高益を見込む



(通期営業利益)

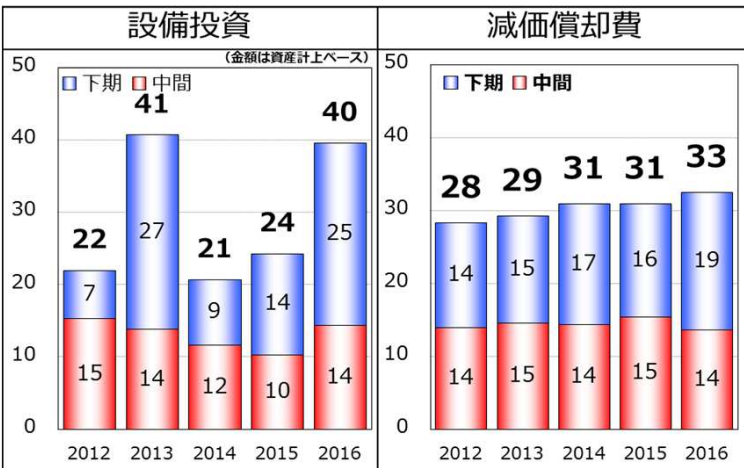
過去最高益を見込む

営業利益

・売上高減少影響	△3.4億円
・原材料価格低下影響	+4.7億円
・労務費・人件費影響	+2.3億円
・その他コストの影響	△2.9億円
計	+0.7億円

設備投資と減価償却費

(単位：億円) MITSUBOSHI



(設備投資)中間実績 前期比41%増

通期見込 前期比63%増

上期

- ・海外 中国工場の増強
- ・国内 試験研究設備の充実
- ・前期比41%増加

下期

- ・試験研究設備の充実
- ・老朽化した生産設備の更新
- ・前期比63%増加

新製品

MITSUBOSHI

オルタダンパプリー Smastar™



バネ式減衰機構付きオルタネータ用プーリー
オルタダンパプリー『Smastar™』を開発
発音抑制・ベルト寿命向上・燃費向上に貢献
金属の機能製品分野へ積極的に進出いたします

(新製品)

金属の機能製品分野へ進出

バネ式減衰機構付きオルタネータ用プーリー
オルタダンパプリー『スマスター』

- ・エンジンの回転変動を吸収
- ・発音の抑制
- ・ベルトの長寿命化
- ・燃費向上にも貢献

『世界の子供たちに愛の手を』式典



(式典)

『世界の子どもたちに愛の手を』



『世界の子どもたちに愛の手を』式典(10月1日開催)

- ・日本ユニセフ協会への寄付金贈呈
- ・兵庫県、神戸市、綾部市、さぬき市に福祉車両を贈呈